

広陵町地域公共交通計画（案）策定に係るパブリックコメントの実施結果について

広陵町地域公共交通計画（案）を公表し、広く町民の皆様のご意見を伺うパブリックコメントを実施しました。
ここに、ご提出いただいたご意見等と、それに対する町の考え方をとりまとめましたので、次のとおり公表します。

1 実施概要

(1) 実施期間

令和4年3月1日（火）から3月14日（月）17時まで

(2) 提出方法、提出人数及び意見の数

提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
持参	0	0
郵送	0	0
ファックス	0	0
電子メール	0	0
Web	2	2
合計	2	2

2 提出された意見と回答

No.	提出された意見	回答（案）	計画の修正
1	<p>広陵元気号のみの運行時間やルート変更のみでは、町民の利便性にすべて答えることはできない。だからといってオンデマンドサービスを張り巡らすには、費用の点からもすぐに実現は難しい。このため、町民の協力も得ながら運行する自家用有償運送が、最も早い実施になると思うが、陸運局の許可が必要となる。現在広陵ささえ愛会議が、コロナで中止中だが、町民の協力を得るにはこの会議の再開も行い、徐々に意識を高めていくことが最適と思う。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>本町が目指す公共交通のあり方については、本計画 P35、36 に記載しているとおりです。また、免許を返納された方などの移動に制約がある方に対しても公共交通サービスを提供する必要がありますので、移動サービスを提供できるさまざまな関係団体と協議の上、本町の状況に適応した持続可能な公共交通の維持を目指してまいります。</p>	<p>修正無し。</p>

No.	提出された意見	回答（案）	計画の修正
2	<p>4 1の自治会別に開催する住民懇談会は、もう開催の機会が無くなってしまうのか。</p> <p>生活に必要な移動（買い物、通院、その他）は身体が丈夫な間はどのようにでもなる。家族や有料タクシーを利用すればよく、公共交通の利用については少ないだろう。町内には、目玉となるような商業施設、総合病院が無いから、広陵元気号を利用するより、家族等の送迎や介護タクシー等により、医大や高田市民病院に行けば良い。完全に一人暮らしになれば、身体の不自由に関わらず、公共交通の利用はしないだろう。今はスマホの時代で、使い勝手の上手な人達が10年後はスマホを使いこなしているから、何でもスマホで出来ていると思う。広陵元気号はもう不要となるかもしれない。</p> <p>タクシーのデマンド予約が可能になるようなアプリの必要性、また、今後のタクシー会社のあり方についても、早く検討すべきと思う。それまではタクシー利用の補助をして、乗り合いというより個人的に移動が出来るようになってほしいと思う。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>コロナ禍により町の行事等につきましては縮小又は中止とさせていただいておりますが、事態が収束すれば、活動を再開させていただく予定です。</p> <p>本町が目指す公共交通のあり方については、本計画 P35、36 に記載しているとおりで。今後は、いただいたご意見も参考にしながら、ICT 等の技術についても積極的な導入を行い、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指してまいります。</p>	修正無し。